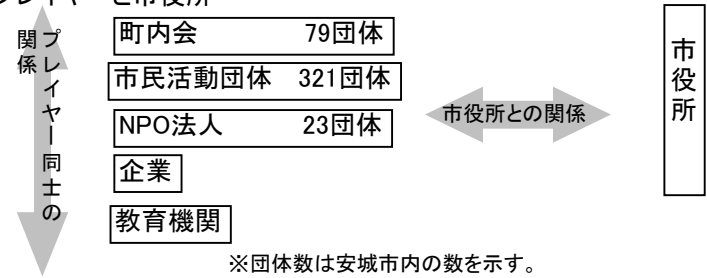


●協働の概要

○協働とは？【英語：コラボレーション、パートナーシップ】
複数の主体（プレイヤー）がそれぞれの役割と責任のもとに、連携し、補完し合いながら協力すること。⇒課題の解決

○プレイヤーと市役所



●グループワーク「なぜ協働か？～協働の目的・ねらい～」

	春	夏	秋	冬
協働の目的・ねらいの本質	・人材を活かす	・各種団体の強みを活かす ↓協力 ・だれもが幸せにくらし続ける	・幸せ	・共助－みんなと助け合い ・共生－生きて ・共活－活動する ・力は1+1=5になる（パワーUP！）
共助、互助の精神	・1個人でできないことをできる ・役所のみではできないことが可能（多様化） ・より大きな力をえられる	・ローカル団体だけではできない		・一人じゃできないことを助け合う＝共助・互助 ・一人で生きる自信・能力なし →助け合う必要＝共助 ・団体同士の部分連合でより大きな活動に ・一つの目標に向かって助け合うために共助する（個人、団体も結びつく理由は一緒）
市民が主役の自治	・市民目線での展開ができる ・住みよいまちをつくるため ・押し付けでない、自ら進んでできる良さ	・市民のニーズを役所だけでは満足させることができない		
多様な個性を補完する	・多様で多才な人材を活かせる	・それぞれの強み、弱みを補完する	・良さをもちあってより良いものをつくる	・それぞれ得意分野が違う→サラダ →生かしあう
視野が広がる	・いろいろと広がる。発見。視野拡大		・新しい視点	・自分の知らない世界を知ることが生き方、活動にプラスになる ・違う考えにふれることで、より高い考え、活動に結びつく
地域の連帯・絆	・一体感（つながり）	・地域の連帯or絆がうすれている ・世代を超えて行う作業	・核家族化でコミュニティの低下 ・きずな	・連帯意識の向上
共通の意識				・同じ意識を持った人同士で共通認識の育成 ・共通の悩み・目的の解決・達成のため
その他	・社会的責任を果たす（企業）		・仲良くすることは良いこと ・財政問題	

■ 市民会議⑬ 2010/11/5 全体トーク「安城の協働って？～できていること/足りないもの」

できていること・強み

項目	
活動団体への支援 (全般的なこと)	特定団体への活動支援
	印刷などの援助はうれしい チラシ作成
	各種支援(協働か?) ・生涯学習課 ・市民活動課(市民活動センター) ・社協 etc...
	相談に乗ってもらって助かる(企画運営)
	幅広い企画や講座の申請に対して補助して頂ける市だと思います
活動団体への支援(場所)	市民団体が活動できる施設(ノード) 場所をかせて下さるのが良いと思います。
団体の充実	レベルの高い取組と継続性が良い
	各団体の自発的活動(問題意識)
	良い団体がすでにいる
	メンバーのやる気を買う
	今回ゲストの企画人を始め、熱い市民がリードしている活動団体が良いと感じる 各団体貴重なパイヤーなので、「協働相手」となるまでの長い付き合いを 安城まちな学校 いろんな企業との協働をしているが協賛金をいただき、報告をきちんとしていくことが大事
人の充実	「安城」を好きな市民が活動してくれている(地元だけでなく)
	人(思いをもった)
	市役所の人材が充実
協力関係	安城は元気な町なので市や企業や個人の協力を得ることができると感じます
	生涯学習課はいろんなグループとの協働ができている
	趣旨・目的を気軽に話し合えば同調者が得られやすい 顔が見える(協働の基本！?)
その他	献血に協力
	超高齢社会に向けた活動を希望する
	表彰制度をもっと活発にして、もっと活性化してほしいです。
	みんなで手をつないで楽しい人生を送りたい

足りないもの・弱み

項目	
団体について	”企画・実行”できる団体　小+小+小→大強 NPO法人の絶対数 行政などをうまく活用しましょう
人について	協働事業への参加する人が限られている気がする 子育て世代の参加 年齢 40代以下の市民の参加
連携不足	もともとと他のボランティア団体と合同で企画運営ができれば良い。協働コーディネーターを作って欲しい。 各団体との連携 各種プレイヤー間のつながり(交流の場合) 体育課=体育協会 他との協働がなりたちににくい？
情報発信・PR	情報発信　伝達 アピール力 サングスの結果　アピール→資金集め　情報発信力⇄受信力 PRだと思えます 実績のPR（あまり協働している実感が無い） 協働の認知度の低さ 活動団体のいいところ・活動内容のアピール(分かりやすく) まだまだ各団体に対するPRが不足か？ 事前PRや事業報告をもっと活発に 各活動団体の活動を知らせる手段を考えたい。 例えば地元学など初めて知りました。
コーディネータ	コーディネートできる人、裏方(的な思考) コーディネータの必要性を認識頂けたのは今日1番の収穫 コーディネータをもっとと　市の職員も
活動資金に関すること	お金 補助金・助成金をあてにしない組織づくりが足りない。 活動資金援助の仕組み
協働の認識	「協働」という概念の理解 協働事例の内容をもう少し詳しく書いたものがほしい 例)刈谷の協働事例集 制度(これから)
その他	学習会で講師を探しますが、情報があまりないのでボランティアなどの人達のリストがあると良い。お互いに講師ができれば。 ”難しい”イメージあるのかな？？ 市民個人が想いを語れる場 むらづくり　女性が主になってイベントをしています。市も町内会も参加するのみであくまでも私たちが主体です。 薬物乱用に学校の時から教育してほしい 相手の弱み(できないこと)を理解する

		あ	い	う
①市民活動団体等	活動団体	- 活動の発案と実行 - 活動報告 - 活動の目的を持って主体的に ○ 団体と向き合う(②③)	- 団体は団体のみの利益でなし、市民全体は市への利益になる活動をする - 特別な団体や個人に向けることなく、どの市民にも平等である活動であること	活動団体の協働会議(代表者会議)の開催 ○ 互いが納得できるまで話し合って共有できるようにする→そのためのルールづくりが大切(①②③) ○ 自主的・自発的に考え行動する(①③)
	情報・PR	- 事業者へのPR - 協働意思の発信 ○ 情報提供(②③)	- 積極的な情報発信を - 若年者への参加呼びかけ - 実績を公表する ○ 透明性の確保(①②)	- 情報、実勢の公開、共有 - 情報の提供(活動の)
	協働	- 協力 - その他を受け入れる	- 協働するうえで相手を理解する - 連絡不足、DV、児童虐待、介護について、もっと協働、参画が必要だと思う(初期の時に) - 共通意識をもつ	安城の町をより良い住みやすい町にしていくためにお互いが協力しあう
	連携		活動団体の連携とコラボ ○ 目的と目標の共有(①②) ○ 相互の理解と対等な関係(①②)	組織力の強化(カリスマではなく…)
	充実	日常活動から市民の公益へのニーズを汲む	- 知識、経験を活かすこと - 行政の事業を理解し、対等な話ができるようにする	- 自発的に。得意分野で - 熱いハート
	育成			次の世代の育成(外に向けた活動にしていくためにも) ○ 協働コーディネーターの育成→市？、市民交流センター？(①②) ○ つなぐ人コーディネーター(的なこと、思考できる人)(①④)
	その他	企画アイデア ○ コーディネーター能力(①②③) ○ 役割分担を明確にする(①②③) ○ 言ったことはやる(①②③) ○ 後だしジャンケンしない(①②③)	- 守秘義務 - 介護者の心のケアができる機会、場所を - 公の資金を使う自覚と責任 ○ 評価の実施(①②)	
②市	情報・PR	- 補助金、PRなど - 情報の発信 - 協働についての告知(PR) - 活動支援	- いろいろな団体の情報がほしい - たとえ小さな意見でも耳を傾け、前進的な方向づけができるように - 積極的に市民参加、協働をするように啓発する	情報の提供
	支援	- 事業活動についての支援 行政→市民 - 法律的な指導助言 市→社協	- 市民活動への促進、支援 - 活動への支援(補助金助成金、人的・知的助成アピール宣伝協力) - 友好的な資金助成のしくみづくり - コーディネーター推進役としての成長	- 活動資金の支援 - 法的制備下支え
	育成			- 人材の育成 - 協働を実践できる職員の育成
	体制・仕組み		- 協働の仕組みづくり - 課等の組織横断的な調整 - 協働の環境の整備	- 人と人を繋ぐ体制づくり - 市は協働する体制づくりとして役割を明示する
	提供		- 協働の機会を増やす - 気楽に集まれる所、同じ思い提供できる場所	会議をするための場所の提供
	配慮		- 活動団体の意欲活動を妨げない - コミュニティに対する理解を配慮	広い心と共感
	充実		市民活動団体の考えを理解し対等な話ができるようにする	
	その他	- 各種法令を適切に適応する→やらない言い訳にしない - 行政の下請けにしない	平等に評価をし次へのステップ、方向づけと提示	推進計画
				お金、物、場所
③事業所	支援	- 補助金 - 相談支援	地域、市民活動への理解と支援(人、金)	市民活動への理解支援
	提供	本業でつちかったリソースを適切に提供する		
	貢献			- CSRとして情報、支援、ヒトの提供 - 社会貢献
	活動	- 細部にわたる活動、事業仕分け 社協→市 - 企業努力	- 地域の一員として貢献する - 地域、市民全体に貢献できるもので営利目的にしない - 中小企業もCSR活動を積極的にする	
	交流	- 人と人を結び - 地域との交流から糸口を		
	その他		- 自らの持つ資源を活かす - 要求に見合った適切な助言	協働するもの同士がお互いに平等であり、相手の意見を尊重する
④地縁団体	参加		- 地域への関心をかんきし、参加をうながす - 多様な住民の参加を活かした運営	
	利益		- 町内会員全体で皆の利益になることを - 他町内会との連携をとり、しいては市全体、市民全体の利益になることを	
	活動		古くからのルールにしばられず積極的に活動団体を利用する	
	企画		地域に根ざした事業を考える	
⑤教育機関	育成		協働に関する意識づけを教育の中でうえつける	
	貢献		専門性を活かしてまちづくりに貢献	
	連携		教育機関と地域の連携、地域伝統文化の継承	
	提供		- もっと内容をしぼった学集会を提供 - 育児中の母親の学級	
⑥その他	交流	実績例等について意見交換		- 町内会・地域、よそ者への理解 - 学校、地域と連携して学習会の開催
	活動		- 自ら活動する勇気をもつ - 地域単位の活動から	学校(授業が足りない部分など)勇気をもってさらけだす(助けを求める)
	その他		- 市民一人一人が考える - 自分ごととしてとらえる	- ネットワークを活かす - 町内会・市(行政)の窓口になるような役割を担う